

若松あじさい祭り・第9回高塔山あじさいガイドウォーク

開催日：令和元年5月26日・6月2日・9日・15日・16日 場所：高塔山

北九州若松の恒例の初夏の風物詩「若松あじさい祭り」が6月15日(土)・16日(日)に開催された。メイン会場の高塔山頂上では、初日の15日は風雨と霧のために早めに切り上げた。16日は天候が回復してピストン輸送のシャトルバスが大勢の観光客を運んで賑わった。

また、イベント「やまあじさいガイド」は、5月26日、6月2日、6月9日の各日曜日3日間実施。

生涯現役夢追塾同窓会の有志20名がガイドとして250名のお客様をこの5日間10時から15時までご案内し、「あじさいの魅力」を堪能していただいた。

本部の標高124mの高塔山頂上の芝生広場から若戸大橋を望む展望台、地藏尊付近から県木の森を巡り響灘の風力発電を遠望するあじさいの育成地から音楽堂付近を散策する約2kmの散策コースの「あじさい」をご案内。

お客様からは、「あじさいの種類の多さや誕生のいきさつ」を知り感動の声が聞かれた。ガイドもいろいろなお客様と会話し、「若松の魅力」があじさいを通して語り合うことにガイド冥利を感じた。以下状況を紹介します。

この活動を暖かく支援していただいた実行委員会、若松区役所、同窓会各位などの皆さんにこころからお礼申し上げます。

リーダー 香月英彦、池田毅、岡ひろみ

主催：夢追塾同窓会若松支部、あなたの夢を支え合うNPOきずな、ほのぼのネットワーク(4期会)

令和元年度あじさいウォークガイドフィナーレ(6月16日)



ピストン輸送の1便目シャトルバスがお客様を海拔124mの高塔山の山頂広場メイン会場にお連れする。
(バスで頂上到着・写真左) 元気な人は、ウ



オーキングで(恒例JRウォークなど)登頂。頂上には河童封じ地藏尊(写真右上)があり、若戸大橋、洋上風力発電などを一望。日本夜景遺産にも認定されている。

10時に開始したあじさいガイドはフル回転。14名の仲間が、丁寧に100名を超えるお客をご案内した。昨夜の雨で、あじさいたちも息を吹き返す。



(ご案内の1例) 博多からこられたご夫妻(60代)、神奈川県から小倉に移られて間もないご夫妻(50代)とご子息(20代)をご案内。県木の森で福岡県の県

木ツツジや神奈川の銀杏、鎌倉のあじさいで有名な明月院ブルー(写真右)やマリンプルー(写真左)の鮮やかさを堪能。新開発中の東斜面の遠く洋上の風力発電を望みながら(写真中央)あじさいの育成地へ入る。



北斜面の「やまあじさい谷」には、幻のシーボルトゆかりのおたくさ「七段



花」(写真右)「紅(くれない)」(写真上左)の群生。英彦山の黄冠などの新種。今年は、イワガラミが花をつけている。西斜面では、クリスタル、マリンドールなどの「西洋



あじさい」スミダの花火、渦あじさいなどの「額あじさい」かしわばあじさい(北米産)が咲き誇る。北斜面の西洋あじさい群(写真上下)があじさいの絨毯を敷き詰めている。



本部舞台でのオープニングは、若松五平太囃子。聞き慣れたお囃子が山頂に響く。あじさいの講習会。子どもたちのあじさいの絵コンクール表彰式などが行われている。



16日活躍した14名のガイド(敬称略)左から香月英彦 岡ひろみ 新見正康 横村三穂子、今井由子、久保晴資、岡崎直実、池田毅、常光孝一、渡邊俊

孝、山地博、右上から出口久美子、野口逸子、山田さき子

5日間を振り返る。お客様との出会いに感謝。あじさいの新種の出会いに感謝。何より9年間のチームワークに感謝。来年の10年記念事業へチャレンジ!

6月15日雨風の中のガイド報告

あじさいたちが大雨にいきいき！若松あじさい祭あじさいウオークガイド初日途中で店じまい！



激励の古賀若松区長と大雨の中集まってくれたガイド 若松中学の吹奏楽部 あじさい展
左から久保晴資、山地博、今井由子、古賀区長、常光孝一、池田毅、香月英彦（敬称略）

6月9日ガイド報告：やまあじさいウオークガイドの第3日フィナーレ



55人のお客さまをご案内。福岡広島市など遠方のお客さまが全体の36%。広域化している。ご案内開始時間を9時30分に繰り上げ終了時間を16時に繰り下げ90分延長。9人のガイドで「満開の山あじさいガイド」に対応した。

お客様からの感想：「やまあじさいの種類が多さに驚いた」「珍しい紫陽花が良い。整備を今少し」「手入れが大変と思う」「やまあじさい、西洋あじさいの相違を楽しくガイドしていただいた。植えてみる（福岡市）」「歩いた後清々しかった」「10年ぶりゆっくりと見学。楽しいひと時になった。」「県木の森がきれいに整備されて、数多くのあじさいも見事。来年も訪問したい。」「手入れも、案内も皆様のおかげです。」「日本各地の原種が移植。日頃の手入れや説明に感謝。」「若松の歴史にも触れた」「あじさいを楽しく観賞。散策で森林浴と体力向上ができてころから感謝」「おまつり本番前の一足先に楽しみました。」

本番への対応や課題事項

- 1、9年目のガイドの経験が生きてきている。更にレベルアップを目指したい。
- 2、友田実行委員長、村重専門委員を始め日頃のお手入れが評価されている。
- 3、総務企画課の皆さんはじめ区役所の対応もきめ細かにしていただいている。



などがお客様の好評価につながっている。

今後発展させていくには、「散策ルートである頂上広場周辺のアジサイの植栽や地蔵尊周辺の植栽整備、県木の森（整備がよかったがもう少し前から）、育成地（丁寧な区分けが良い）など散策ルートにほのぼの感が出てきている。」が、一層の丁寧な環境整備が望ましい。

（写真：左上横から岡ひろみ、新見正康、坂本博子、池田毅、金子静也、左下岡崎直実、熊谷洋子、香月英彦、久保晴資：敬称略）

6月2日ガイド報告 高塔山のやま

あじさいが見事に満開です！あじさいガイド6月2日（日）団体の皆さんほか50名をご案内しました。岩がらみが見事に満開です。スタッフ（敬称略）：井上恒夫、久保晴資、岡ひろみ、高和美、金子静也、岡崎直実）イワガラミ（右写真）



水巻在住武尾一三氏(たけおかずみし)から夢追塾へ色紙でエールが送られました。頑張りましょう！
※6月5日には、山地博氏が25名のグループを「やまあじさい」育成地ご案内。

5月26日ガイド報告 七段花の群生がお出迎え最高潮！

高塔山のやまあじさいウォークガイド初日！さあ、張り切ってGO!

令和に入ってから最初の山あじさいウォークガイドを5月26日開催。夢追塾同窓会の仲間12名が集結した初日。友田実行委員長、村重あじさい博士のレクチャーを受けながら10時～約1時間育成地を中心に研修。若松区役所の児玉さんも激励。その後団体客など三々五々ご案内。

30℃を超える真夏日。北九州市の運動会も「光化学スモッグ」を警戒して午前中で打ち切れ外出は慎まれた日。

コースは、頂上広場の本部テントー県木の森の明月院ブルー新しい東育成地（開拓中）ー現在の北～西の育成地を回る。やまあじさい達は、シチダンカ（写真上左）やイワガラミ、ミヤケトキワ

（写真右）などが最盛期。



やまあじさいウォーク初日ガイドの皆さん 暑い中お疲れ様です。

参加の皆さん

（敬称略）新見正康、池田毅、久保晴資、山田さき子、横山美穂子、江崎弘子、山地博、岡崎直実、香月英彦、熊谷洋子、常光孝一、岡ひろみ

（文責香月英彦）